

2冠達成!

「2018年版『住みたい田舎』ベストランキング」で北九州市が
総合部門・シニア世代部門の2部門で全国第1位を獲得しました!

本市では地方創生の推進のため、関係する事業者・団体等の皆様と協力しながら、官民一体となった定住・移住促進の取り組みを進めているところです。

この度、株式会社宝島社が発行する「田舎暮らしの本」(2018年2月号)において発表された「2018年版『住みたい田舎』ベストランキング」で、本市が総合部門・シニア世代部門の2部門で全国第1位を獲得しました。

<2018年版『住みたい田舎』ベストランキング>
(人口10万人以上の大きなまち)

総合部門

第1位 北九州市

シニア世代部門

第1位 北九州市



<住みたい田舎ベストランキング>

株式会社宝島社が移住促進に積極的な市町村を対象にアンケートを行い(回答は671市町村)、田舎暮らしの魅力を数値化して、ランキング形式で紹介。2018年版では、自治体を人口10万人以上の「大きなまち(106自治体)」と10万人未満の「小さなまち(565自治体)」に区分し、それぞれで【総合】【若者世代】【子育て世代】【シニア世代】の4部門でのランキングを発表。

<宝島社のプレスリリースより>

自治体の首長が移住促進を公約に掲げる市町村は上位にランクインする傾向があり…

「大きなまち」総合1位の北九州市(福岡県)は、「生涯活躍のまち」としてモデルエリアを選定。2年後に65歳以上の人口がピークを迎える同市は、若者・子育て世代だけでなく、車がなくても暮らせる医療施設も充実した住宅地を整えるなど、シニア世代の移住も積極的にサポートしています。

※「田舎暮らしの本」について

1987年に創刊された「田舎暮らし」をテーマとした月刊誌。
移住者レポートなど、田舎暮らしに役立つ情報を発信している。

【問い合わせ先】
企画調整局地方創生推進室
課長：岩田 係長：田中
(Tel: 093-582-2174)